

ひとりの笑顔、みんなの笑顔



SMILE CLUB PROFILE

スマイルクラブの夢

スポーツが得意な人も苦手な人も、

障がいがある人もない人も、

子どもも大人も、

アジアの人も世界の人も・・・

スポーツで

「ひとりの笑顔がみんなの笑顔になる、

みんなの笑顔がひとりの笑顔になる」

それがスマイルクラブの夢です！！

そんな夢と一緒に見ては

いただけないでしょうか？

スマイルクラブの概要

団体名	特定非営利活動法人（N P O 法人）スマイルクラブ
代表者	大浜 あつ子
主たる役員	理事長 大浜あつ子（聖路加看護大学非常勤講師） 理事 勝本真（茨城大学教育学部教授） 理事 中山久子（順天堂大学看護学部准教授） 理事 大浜三平（法政大学非常勤講師）
目的	障がい健常関わりなく誰もが身近にスポーツが楽しめる環境づくり
設立年月日	2000年12月20日
所在地	千葉県柏市豊上町23-29
ホームページ	http://smile-club-npo.jp/
沿革	<ul style="list-style-type: none">・1998年 任意団体として発達障がい児の教室を開催・2000年 千葉県でN P Oとして認証 「運動が苦手な子の教室」と「バレーボール教室」でスタート・2001年 総合型地域スポーツクラブとして本格的に活動をスタート 「柏市立柏高校」とのタイアップで障がい児のプール教室開催・2005年 茨城支部（水戸市）設立・2006年 柏市協働事業「学校体育授業サポート」事業スタート 「第1回アジアワークショップ」開催（北京市）・2009年 第2回アジアワークショップ開催（千葉県柏市）・2010年 横浜市内作業所運動指導スタート・2011年 熊本支部（熊本市内）設立・2014年 山口支部設立・2015年 児童デイサービス事業「スマイルスポーツ塾」スタート 現在にいたる
主たる活動	<ol style="list-style-type: none">1. アダプティドスポーツ事業（障がい者スポーツ） 発達障がい児も参加できる「運動が苦手な子の教室」 I Dバレーボール大会（知的障がい者バレーボール大会） フロアバレーボール大会（視覚障がい者バレーボール大会）2. 児童発達支援事業および放課後等デイサービス事業 発達障がい児の個別運動指導教室「スマイルスポーツ塾」3. シニアウエルネス事業（高齢者） 健康体操教室「スマイル健幸教室」 スマイルタウン事業（モバイルジム、スマイルハウス等）4. スポーツ教室（一般） バレーボール教室、バスケットボール教室、バドミントン教室 スポーツ指導者研修コース「スポーツカレッジ」

5. 行政との連携

柏市協働事業「学校体育授業サポート」事業

柏市教育委員会委託事業「鉄棒上達教室」

横浜市委託事業「作業所勤務者のスポーツ指導」(メタボ予防)

6. 外部との連携等

コナミスポーツ受託施設からの委託事業

「運動が苦手な子の教室」、「バレーボール教室」の開催

千葉県まちづくり公社とのタイアップ事業

各種スポーツイベント等

受賞歴

◆2008年 読売新聞「読売福祉文化賞」受賞

発達障がい児の運動教室「運動苦手な子の教室」の実績による、新時代にふさわしい福祉活動に取り組んでいる活動が評価された。

◆2010年「かめのり賞」受賞

アジアワークショップなどアジア（日本、韓国、中国、タイ）における障がい者スポーツにかかる活動が評価された。

◆2010年 Amway「one by one アワード」受賞

「運動が苦手な子の教室」を通じて、子どもたちの生活向上支援として新たな可能性を見出したことが評価された。

◆2012年 第一生命「保健文化賞」受賞

日本の総合型地域スポーツクラブとしてはじめての受賞。障がい者も健常者も身近にスポーツを楽しめる環境づくりや、ボランティアの養成、アジアへのネットワークの構築などが評価された。天皇皇后両陛下のご拝謁も賜る。

◆2012年 博報堂「博報賞」および文部科学大臣奨励賞を受賞

特別支援教育部門においての受賞。「運動が苦手な子の教室」の活動が評価される。

◆2013年 社会貢献支援財団「社会貢献者表彰」受賞

社会福祉や青少年育成などへの表彰で、スマイルクラブのNPOとしての様々な活動が評価される。

◆2015年 Google インパクトチャレンジ賞受賞

障がい者も高齢者も笑顔で住める街「スマイルタウン」を目指し、モバイルジムを提案し、受賞につながる。

協力者等

(五十音順)

(敬称略)

黒須 充（順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科教授）

高松 薫（筑波大学名誉教授、スポーツカレッジアドバイザー）

間野 義之（早稲田大学スポーツ科学学院教授）

横山 文人（亜細亜大学経営学部 准教授）

吉野 比洋兒（スポーツプロデューサー）

理事長略歴

東京生まれ
筑波大学体育専門学群卒業、横浜市立中学校教諭
東京都内養護学校非常勤教諭
2000年NPO法人スマイルクラブ設立と同時に理事長就任
聖路加看護大学、流通経済大学大学院非常勤も兼務

理事長主たる著書等

- ・ジグソーパズルで考える総合型地域スポーツクラブ
大修館書店 クラブネッツ監修（分担出筆）
- ・健康運動の支援と実践 金芳堂
筑波大学教授 田中喜代次／大蔵倫博編著（分担出筆）
- ・コーチングのジレンマ ブックハウス・エイチディ
慶應義塾大学講師 東海林祐子著
(インタビュー形式にて運動が苦手な子の教室の紹介)

スマイルクラブの周辺活動

研究・助成事業等

◆2001年

- ・「総合型地域スポーツクラブ助成」toto 助成
- ・「日本中国共同による障がい者のための運動教室マニュアル作成事業」福祉医療機構

◆2002年

- ・「総合型地域スポーツクラブ助成」toto 助成
- ・「スポーツプログラム助成」SSF
- ・「障がい者のための運動教室推進」日本自転車振興会

◆2003年

- ・「高齢者の実践的健康づくり研究」ひまわり財団
- ・「スポーツプログラム助成」SSF
- ・日本、韓国における「障がい児を対象としたスポーツ・運動の活動状況と課題整理」交流事業、国際交流基金

◆2004年

- ・「知的障がい者の生涯スポーツモデル事業」福祉医療機構

◆2005年

- ・「知的障がい者の生涯スポーツ教室推進事業」日本自転車振興会
- ・「子どもの生活習慣病予防のための健康サービスモデルに関する調査研究」千葉県産業振興センター

◆2006年

- ・「アジアにおける障がい者スポーツに関するワークショップ（北京体育大学）」国際交流基金

◆2007年

- ・「知的障がい者の社会的支援に関する交流事業（バンコク）」外務省
- ・「プロスポーツ選手活用事業」文部科学省競技スポーツ課
- ・「スポーツ文化の社会的役割に関するアジア・フランス交流」国際交流基金

◆2008年

- ・「プロスポーツ選手活用事業」文部科学省競技スポーツ課
- ・「子どもの生活リズム向上のための調査研究」文部科学省生涯学習政策局
- ・「アジアにおける障がい者スポーツに関するワークショップ（日本開催）」三菱財團

◆2009年

- ・「官民パートナーシップ支援事業」（柏市教育委員会との協働事業による“子どもスポーツ苦手解決プロジェクト）内閣府国民生活局市民活動促進課
- ・「知的障がい児指導に携わる高校生ボランティア養成事業」日本たばこ助成事業
- ・「知的障がい者メタボ予防プログラム開発事業」福祉医療機構

◆2010年

- ・「スマイルスポーツボランティア講習会」 笹川スポーツ財団
- ・「大阪スポーツボランティア養成事業」 大阪コミュニティ財団
- ・「横浜市運動が苦手な子の教室モデル事業」 洲崎福祉財団

◆2011年

- ・「コミュニティスポーツを通じた発達障がい児のための先進的人間向上プログラム」
住友生命健康財団（フランスパリにて開催の CHI2013 学会でポスター発表）
- ・「東日本大震災被災者支援事業」 千葉県スポーツ振興基金
- ・「スポーツ講習会」 ヨネックス財団

◆2012年

- ・「障がい者のための大学生スポーツボランティア養成横浜モデル事業」 電通育英会
- ・「スマイルウェルネスカレッジ」 年賀はがき寄附金分配事業
- ・「ボランティア体験発表会」 千葉県地域ぐるみ福祉振興基金

◆2013年

- ・「慢性期の心臓リハビリテーション患者を支援する『スマイルウェルネスプログラム』の開発事業」 エドワーズライフサイエンス基金
- ・「発達障がい者（青年）のチャレンジスポーツ教室自立モデル事業」 日本たばこ
- ・「発達障がい児、知的障がい児の運動教室「運動の苦手な子の教室」 体験会 エネルギア文化・スポーツ財団（山口支部）

◆2014年

- ・「心のバリアフリーを目指す、障がい者スポーツプロモーション（普及）事業」
年賀寄附金
- ・「発達障がい児の運動指導に携わるスポーツボランティア養成事業」 日本財団

◆2015年

- ・「スマイルクラブチャレンジ！スポーツ交流体験会キャラバン山口」 ほか、子ども夢基金
- ・「バレーボールスマイルリーグ」 ほか、toto 助成
- ・「発達障がい児の運動指導に携わるスポーツボランティアの育成事業」 日本財団
- ・「高齢者のための介護予防モバイルジム」 Google

◆2016年

- ・「オリンピックレガシー構築に向けた『障がい者スポーツボランティア養成』 モデル事業」 年賀寄附金
- ・「発達障がい児が運動をするための環境づくり及びスポーツボランティアの養成事業」 日本財団

国際交流事業

◆2002年

- ・「日本中国共同による障がい者のための運動教室マニュアル作成事業」福祉医療機構
- ・アメリカロザンゼルスNPO等との交流

◆2003年

- ・「日本韓国知的障がい者の運動について」(韓国梨華女子大学) 国際交流基金
- ・「タイバンコクでの知的障がい者の状況把握」スリナカリンヴィロート大学

◆2004年

- ・「日本中国バレーボール交流」北京市内
- ・「ドイツケルン市内スポーツクラブ交流」 国際交流基金

◆2005年

- ・「日本韓国バレーボール交流」ソウル市内

◆2006年

- ・「アジアの障がい者スポーツネットワーク構築のためのワークショップ」
(アジアワークショップ) 国際交流基金

◆2007年

- ・「知的障がい者の社会的支援に関する交流事業」 (バンコク) 外務省

◆2009年

- ・「アジアワークショップ 第2回目」 (日本) 三菱財団

◆2012年

- ・「ドイツフランクフルトスポーツ交流」 国際交流基金

◆2013年

- ・「ドイツミュンヘンスポーツ交流」 (クラブ提携)
- ・「フランスパリ市内スポーツ交流」
- ・「台湾 バレーボール交流」 (淡江大学)

◆2014年

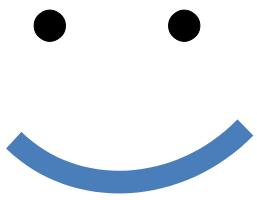
- ・「ドイツミュンヘンスポーツ人事交流」 ESV München (クラブ提携先)
- ・「韓国濟州島スポーツ交流」

◆2015年

- ・「ドイツミュンヘンスポーツクラブ交流」 1860 München 等

◆2016年

- ・「オーストラリアスポーツ交流」 AIS、全豪オープン等
- ・「ドイツミュンヘンスポーツクラブ交流」 St. Josefs Heim 等



スマイルクラブの景色

☆運動が苦手な子の教室

- ・運動が苦手な子の教室
- ・チャレンジスポーツ教室
- ・学校体育授業サポート事業

☆児童発達支援および放課後等デイサービス事業

- ・マンツーマン指導
- ・3歳から利用可能
- ・土日も開催
- ・発達が気になる方

☆スマイル健幸教室（モバイルジム）

☆スポーツ教室（バレーボール、バスケットボール、バドミントン）

☆ボランティア養成

☆研究、助成事業

☆国際交流

スマイルクラブの景色

☆運動が苦手な子の教室

- 運動が苦手な子の教室
- チャレンジスポーツ教室
- 学校体育授業サポート事業

主に発達障がい児を対象とした運動教室「運動が苦手な子の教室」（上段）
そして発達障がい者（大人）を中心とした「チャレンジスポーツ教室」（中段）
小学校の特別支援学級を中心とした「学校体育授業サポート事業」（下段）



☆児童発達支援および放課後等ディサービス事業

- マンツーマン指導
- 3歳から利用可能
- 土日も開催
- 発達が気になる方

発達障がい児（受給者）を対象とした個別運動指導教室「スマイルスポーツ塾」



☆スマイル健幸教室（モバイルジム）

- 椅子を使ってのストレッチ（上段）
- スクエアステップ（中段）
- エアスポーツ（下段）



☆スポーツ教室（バレー、バスケットボール、バドミントン）

- バレー教室とスマイルカップ（上段）
- バスケットボール教室と講習会風景（中段）
- バドミントン教室とスマイルカップ集合写真（下段）



☆ボランティア養成事業

- CPRとAEDの安全研修（上段）
- ボランティアの方々への感謝会（中段）
- ボランティア体験発表会（下段）



☆研究、助成金事業

●スミセイ（住友生命健康財団）

コミュニティスポーツを通じた発達障がい児のための コミュニケーション支援型運動プログラムの開発

スミセイ障がい児のコミュニケーションデバイス研究



筑波大学情報系 鈴木先生との共同研究！ フランス パリでの研究発表へ

スミセイ障がい児のコミュニケーションデバイス研究

Enhanced Reach: Assisting Social Interaction
Based on Geometric Relationships

Asaki Miura, Dushyantha Jayatilake, and Kenji Suzuki

Artificial Intelligence Laboratory
University of Tsukuba, Japan
asaki@ai.iit.tsukuba.ac.jp, {dush,kenji}@ieee.org

Enhanced Reach 151

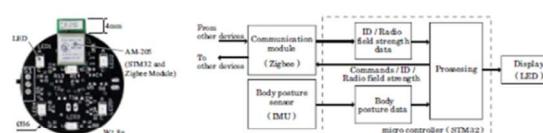


Fig. 2. The ER device and the System Configuration



Fig. 3. 3 different types of wearable ER devices: (a) badge, (b) jersey and (c) bracelet

筑波大学情報系 鈴木研究室 伊藤さんの論文

●年賀寄附金

心のバリアフリーを目指す

障がい者スポーツプロモーション（普及）事業

障がい者スポーツイベント（2014年度）実績

NPO法人スマイルクラブ ダイジェスト版 2015年3月 『障がい者スポーツプロモーション事業報告』より（2014年度）		
2014年10月パラリンピック金メダリスト 河合純一氏による講演会	2014年10月 障がい者ボウリング大会	2014年11月 フロアバレー体験会
		
日本パラリンピアンズ協会会長 パラリンピック水泳金メダリストの河合純一氏による講演会開催！	筑波大学附属視覚特別支援学校の先生生徒など視覚障がいの方々、車いすの方、苦手な子の教室参者など！	視覚障がい者バレーボール、フロアバレーの体験会を行いました。ネット下を使ってボールを転がすバレーボールです！
NPO法人スマイルクラブ ダイジェスト版 2015年3月 『障がい者スポーツプロモーション事業報告』より（2014年度）		
2014年10月 心臓リハビリプログラム運動体験	2015年2月 IDバレーボール大会	2015年3月 ボランティア体験発表会
		
筑波大学田中喜代次教授による講義とスマイルクラブスタッフによる、プログラム体験を行いました。	東京や埼玉などの千葉近県からたくさんの方々が参加をしてくださいました。またスマイルクラブからも参加しました。	この体験が今後の人生の中で大いに役立ち、5年後の東京パラリンピックに大きくつながっていくことを願っています。

●グーグルインパクトチャレンジ
笑顔の生まれる街づくりを提案



障がい者も高齢者も一緒に過ごし、笑顔の生まれる街づくりの実現

Google Impact Challenge



高齢者のための
介護予防モバイルジム

特定非営利活動法人 スマイルクラブ

投票受付中

高齢者のための移動式健康教室モバイルジムを提案

☆国際交流（アジア）

中国



日中共同障がい児スポーツ指導マニュアル作成事業(左)やバレー交流

韓国



ソウル大学で地域スポーツ情報交換(左)や梨華女子大とのバレー交流

タイ



JICA調査で現地のスティゴ夫妻と(左)やバンコク市内の養護施設視察

☆国際交流（ヨーロッパ）

ドイツ



ドイツ心臓リハビリプログラム視察(左)や高齢者施設の見学

ドイツ



ミュンヘン ALLIANZ スタジアム VIP ルームでのサッカー試合観戦

フランス



UCPA主催のパリ市内のファミリーイベント(左)や受託先訪問

☆国際交流（アメリカ・オーストラリア）

アメリカ



TEACCHプログラム研修視察(ノースカロライナ)

アメリカ



コロラドスプリングスUSOCと全米女子バレー代表選手の練習

オーストラリア



AIS（国立スポーツ研究所）

ひとりの笑顔、みんなの笑顔



◆児童デイサービス事業 スマイルスポーツ塾松戸

TEL・FAX 047-705-7086

Homepage

<http://www.smile-sports.jp/>



E-mail

smilesportsjuk2@jcom.zaq.ne.jp

〒271-0076 松戸市岩瀬 611-1 ソルトリバー203

◆児童デイサービス事業 スマイルスポーツ塾柏

TEL・FAX 04-7113-1407

Homepage

<http://www.smile-sports.jp/>



E-mail

smilesportsjuk@jcom.zaq.ne.jp

〒277-0005 柏市柏 5-8-16 柏ウェルズ'21 C号室

◆スポーツ・健康づくり NPO法人スマイルクラブ

TEL 04-7169-4183 FAX 04-7169-3303

Homepage

<http://smile-club-npo.jp/>



E-mail

smile-c@jcom.home.ne.jp

〒277-0858 柏市豊上町 23-29

